



京都嵯峨芸術大学

NEWS

大学報告

教育後援会 報告

2015年度総会が7月5日(日)に本部キャンパス第6演習室にて開催されました。2014年度事業報告・決算と2015年度事業計画・予算が承認され、新役員が選出されました。引き

続き、神谷学生支援委員長から学生生活について報告が行われ、閉会後、学科分野別に担当教員との懇談会、職員との成績関係や学生生活、進路関係についての個別相談会が実施されました。

その他、施設見学会、就職支援セミナー、奨学金説明会を実施し、当日お配りした無料拝観券で、多くの方に「旧嵯峨御所 大本山大覚寺」へご参拝をいただきました。参加者の皆様からは概

ね好評をいただき、本学の教育支援、教育環境の一端をご理解いただく良い機会となりました。(管理運営グループ)

2015年度 前期進路・就職支援の取り組み



2015年度前期、インターンシップ説明会を始め業界研究・学内会社説明会や進路ガイダンスなど、主に毎週火曜日と水曜日を中心に計32の説明会や講座を実施しました。また、各学科・分野

等の研究室では、四大3年生と4年生および短大2年生を対象に入学年次の教養ゼミ内で作成のキャリアアカルテに基づいて進路個人面談を実施しました。

さらに、公益財団法人大学コンソーシアム京都ならびに本学独自のインターンシップ研修では、各企業様のご協力により、実習生を受け入れていただいています。なお、就職・採用活動時期の変更に伴い、夏期休暇中も

学内では毎週水曜日の午後に京都新卒応援ハローワークの学内就職支援相談を行っています。その他、8月と9月にはフォトショップ・クリエイターとマイクロソフト・オフィス・スペシャリスト

の資格取得講座を開講しています。(教務・学生支援グループ) ※本年5月から、「キャリア支援窓口」は、本部キャンパス管理棟1階、事務局内に移転しました。

2015年度 オープンキャンパス、体験入学報告



前期オープンキャンパスを4月26日(日)、6月6日(土)、6月7日(日)、7月26日(日)に開催しました。これらのオープンキャンパスでの総来場者数は1,020名(受験生648名、保護者372

名)のぼりました。また昨年度同様、事前予約のうえ1日かけて希望分野・領域の授業を体験する体験入学を5月24日(日)、6月21日(日)、7月12日(日)に実施しました。7月12日(日)は

AO入試I期を想定したプログラムを実施し、多くの方々にご参加いただきました。体験入学の総参加者数は297名にのぼりました。次年度以降も、広報活動や内容の充実に励み、一人でも多くの

方に本学での学びを知っていただけるようにします。2016年度入試では、AO入試I期とIII期を体験授業形式、AO入試II期を面談形式で行いました。さらに、内容を「鉛筆デッサン4時間」

に変更したうえで、今年度も「スカラシップ入試」を実施いたします。本入試で合格すると特待生として採用され、学費負担が原則として卒業まで年間50万円減免となります。(入学広報グループ)

告知

公式 プロモーションビデオが完成



「京都嵯峨芸術大学公式YouTubeチャンネル(sagei)」をリニューアルし、大学公式プロモーションビデオ「sagadays」を公開しました。プロモーションビデオは「キャンパ

スライフ編くわたしをつくる場所」、「造形学科編」、「デザイン学科編」、「短期大学部編」の4編から構成されています。「キャンパススライフ編」では、大学周辺にある渡月橋や大覚寺、嵐山の文

化と歴史、自然に囲まれた環境と共に、学生が伸び伸びと過ごしている姿を紹介しています。「造形学科編」、「デザイン学科編」、「短期大学部編」では、学生が制作に打ち込む姿や実習室の

風景とともに恵まれた制作環境を紹介しています。学生一人ひとりが好きなことに打ち込む場所、自分の世界をつくる場所で、普段どんなまなざしで作品に向き合っているのか、どうぞご覧く

ださい。今後も「京都嵯峨芸術大学公式YouTubeチャンネル(sagei)」では、大学紹介の動画を順次アップしていく予定です。(入学広報グループ)

今年の嵐芸祭のテーマは「海賊」!



嵐芸祭は本学で行われる学園祭のことで、来場者が日常の嫌な事や悩みなどを忘れてしまうほど笑顔になる、学園生活で最も活気にあふれ盛り上がる2日間です。今年は10月31日(土)、11月

1日(日)です。日常生活では満たされないような冒険心を感じてもらおう、というコンセプトに今年このテーマを「海賊」に決定しました。当日は、在学生やサークルによる模擬店やフリー

マーケットはもちろん、芸大ならではの展示会やライブイベント、中庭に設置するメインステージでさまざまなコンテストなどが行われます。実行委員会は校内の装飾やボスターの掲示物作成、さ

らには豪華ゲストによる特別イベントなどを企画し、嵐芸祭を盛り上げるために活動しています。しかし嵐芸祭は実行委員会だけでなく、在学生や卒業生、教職員や地域の方々など、来場者の方が

いてはじめてでできるものなのです。ワクワク、ドキドキするような空間を作り上げて待つています!皆様ぜひお越しください!(嵐芸祭実行委員会委員長 長山田瑠璃)

学内公開講座

大槻香奈先生
キャンパス
作品公開制作



客員准教授、大槻香奈先生による作品展「大槻香奈作品展・過去から現在まで」が7月10日(金)〜7月26日(日)まで附属ギャラリーで開催されました。2007年から2015年までの作品を

時系列で展示、大槻香奈先生の大型の作品が並びました。会期最終日の26日はオープニングイベントにあわせて公開制作も行われ、100人以上が大槻先生の制作風景を鑑賞。現在、短期大学部コ

ミックアート分野で教えていただいておりますが大槻先生は美術作家であり、ご自身の作品制作以外にも本の装丁やクレンジットカードの絵柄、スマートフォンケース用の絵などさまざまな物

に作品を提供されています。26日の公開制作には、学生も多数見学に来ており先生の人気の高さを感じました。大槻先生には、今後も定期的な作品展を開催していただきたいと思っております。

(短期大学部・安齋レオ准教授)

2014年度
教学振興資金
寄付ご報告

教学振興資金寄付につきまして、ご協力賜りました皆様のご厚意に深く感謝を申し上げます。2014年度教学振興資金寄付金は170件、2,586,406円となりました。

2015年度よりワークスタディ奨学金制度の創設など、奨学金制度の拡充といった、在学生の学修環境の充実をさらに進めております。今後とも社会に有意な人材の輩出を目指し、教育・研究に係る施設・設備・制度等の充実に努めてまいりますので、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、嵯峨芸古本募金さがりポンプロジェクトにつきましても、皆様のご善意により昨年度12、646円(内不特定多数からの募金6,240円、個人からの募金6,406円)となり、2014年度の図書購入費として充てさせていただきます。本学附属図書館の充実に活用させていただきますことをご報告いたします。

本学図書館は在学生のみならず学外の方にもご利用いただいております。今後ともご不要となりました本本などございましたら、学内に設置の「古本回収ボックス」にご投函いただくか、もしくは5点

2014年度 寄付者の方々(50音順・敬称略)
 教学振興資金寄付へのご協力、心より御礼申し上げます。ご寄付頂きました方々への感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。

池田博	博樹市介	池田秀	秀樹市介
伊藤秀	秀樹市介	伊藤秀	秀樹市介
藤村俊	俊彦和正	藤村俊	俊彦和正
江村遥	遥敏和正	江村遥	遥敏和正
木村清	清高和正	木村清	清高和正
西藤高	高木和正	西藤高	高木和正
須藤中	中須藤和正	須藤中	中須藤和正
藤本本	本藤本和正	藤本本	本藤本和正
山崎本	本山崎和正	山崎本	本山崎和正
吉田本	本吉田和正	吉田本	本吉田和正
池田本	本池田和正	池田本	本池田和正
伊藤本	本伊藤和正	伊藤本	本伊藤和正
藤村本	本藤村和正	藤村本	本藤村和正
江村本	本江村和正	江村本	本江村和正
木村本	本木村和正	木村本	本木村和正
西藤本	本西藤和正	西藤本	本西藤和正
須藤本	本須藤和正	須藤本	本須藤和正
藤本本	本藤本和正	藤本本	本藤本和正
山崎本	本山崎和正	山崎本	本山崎和正
吉田本	本吉田和正	吉田本	本吉田和正
池田本	本池田和正	池田本	本池田和正
伊藤本	本伊藤和正	伊藤本	本伊藤和正
藤村本	本藤村和正	藤村本	本藤村和正
江村本	本江村和正	江村本	本江村和正
木村本	本木村和正	木村本	本木村和正
西藤本	本西藤和正	西藤本	本西藤和正
須藤本	本須藤和正	須藤本	本須藤和正
藤本本	本藤本和正	藤本本	本藤本和正
山崎本	本山崎和正	山崎本	本山崎和正
吉田本	本吉田和正	吉田本	本吉田和正

※お名前前の公表を希望されない方につきましては、掲載しておりません。



本学園では教育研究に
関わる活動に対する支援
を目的として、毎年、教
学振興資金のご寄付を募
集しております。この寄
付金は教育研究活動の充
実、施設設備等教育環境
の充実、学生の奨学制度
の充実など、学生の学び
の環境の充実に活用され
ます。

金額は一口1万円(一
口未満のご奉仕もありが
たくお受けいたします)
で、2015年6月から
2016年3月末まで、
在学生保護者、卒業生、

教職員、企業・法人、一
般有志の方々等へ広く募
集を行っております。
個人で本学園へのご支援
をお考えくださる方は、
本学ホームページ「ご寄
付のお願い」の申し込み
フォームよりお申し込み
ください(下記QRコー
ドよりアクセスしてい
ただけます)。また、企業
法人の方は、全額損金算
入が可能な「受取指指定
寄付金」のお取り扱いが
可能ですので、管理運営
グループまでお問い合わせ
ください。お申し込み

本学「ご寄付のお願い」ウェブサイトURL
<http://www.kyoto-saga.ac.jp/donation>

問い合わせ先:
 京都嵯峨芸術大学 管理運営グループ(寄付金窓口)
 Tel.075-864-7858 / Fax.075-881-7133
 e-mail: soumu@kyoto-saga.ac.jp

申し込みフォームはこちら▼

TOPICS

教員・在学生・卒業生の活躍

嵐山アートプロジェクト報告



嵐山が学生による芸術創造のまちであることを体感、発信することを目的に、観光デザイン2回生を中心にイラスト、ウェブ系からも参加し合計9名の学生が嵐山アートプロジェクト「嵐山」

ジャックしてみた」(8月1日〜10日)を昨年に続き実施しました。嵐電の協力によるコミックアート電車(コミックアート領域連携)、嵐電嵐山駅ホーム天井の染織デザインの暖簾(染織テキスタ

イル領域連携)の展示や、昇龍苑での箏曲部によるアートライブ、中之島公共トイレ6か所のトイレアート、嵐山ゆるキャラ月橋渡君のフィギュア試作・展示などを実施しました。

企画から、学まちコラボの補助金獲得のためのコンペ応募とプレゼンテーション、デザイン制作・展示、アートライブの管理・運営など、総合的、実践的なグループワークには大きな手応えを感

じました。昨年よりエリアが拡大し、質量ともに増え大変でしたが、嵐山地域と連携した本学ならではのアートプロジェクトが実現できました。(芸術学部・坂上英彦教授)

「新・寺子屋計画3」、天井画完成!



4年にわたる「新・寺子屋計画」金剛寺天井画制作プロジェクトも最終年となり、8月16日に滋賀県・東近江市の金剛寺で「天井画完成披露式典」と「垣見の夕べ」を開催しました。「新・

寺子屋計画」は、学生と地域住民が協力して、お寺を「集」の場として復活させようというものです。今年本堂内陣左余間天井画が完成したことにより、内陣全室天井画すべてが完成しました。

式典では、歴代実行委員長と門徒総代等がこれまでの成果を今後についてシンポジウムを行いました。夜には「垣見の夕べ」として学生サークルの「竹造」の灯籠のもと、「箏曲の会」やトランプット奏者熊倉正

明氏、二胡奏者石本智子氏による演奏を行いました。参加者は150名を超え、最終年に相応しいイベントとなりました。

大なるご支援とご協力があったことです。学生たちも本当によく頑張りました。この経験の中で学んだ多くのことが、これから活かされるものと信じています。(芸術学部・仲政明教授)

各種助成金獲得事業

京都市と公益財団法人大学コンソーシアム京都による支援制度「学まちコラボ事業」において、2015年度の選考で本学の芸術学部デザイン学科観光デザイン系のチームによる「嵐山アートプ

ロジェクト」事業が認定を受け、助成が確定しました。また、右京区による地域コミュニティの活性化と区民参加のまちづくりを進める「2015年度右京区まちづくり支援制度(大学・学生枠)」

では、本学の学生4団体による事業「嵯峨野光の茶室プロジェクト/WABI-SABI」嵯峨妖怪アートフェスタ/妖怪芸術団体「百妖箱」ぐるぐる右京華やかプロジェクト/KURURU

KULU、「サガノミノイチーサガフリーマーケット」京都嵯峨芸術大学フリマ実行委員会)が認定を受け、助成が確定いたしました。(社会連携・研究支援グループ)

愛宕古道街道灯しレポート



8月23日(日)から25日(火)にかけて20回目となる「愛宕古道街道灯し」が開催され、学生サークル「竹造TAKAZO」が中心となり制作した巨大行灯を含む800基が清涼寺(嵯峨

積迎堂)から愛宕神社一の鳥居までの街道沿いに並びました。あだしの念仏寺での千灯供養、また地藏盆にあたる日の夕べにあわせ、瀬戸内寂聴氏と嵯峨野保勝会がともに作りあげてきたもので、

地元の方々や小中高生とともに制作したのも、右京区にある児童館との連携により子どもたちと制作したもの、生涯学習講座の受講生の制作によるものでした。23日の18時30分からは一の鳥居前で

点灯式が開催されました。また、いくつかの学生グループが企画した手作り市「ぐるぐるナイトマーケット」も開催され、祭り全体が活気づいたものになりました。(社会連携・研究支援グループ)

妖怪のお面を作って嵐電に乗ろう!!



毎年開催している「小学生夏休み講座」以外に、昨年に引き続き「妖怪のお面を作って嵐電に乗ろう」(小学生対象、保護者参加も可)という生涯学習講座を、嵐電と連携し開催しました。嵐電の

イベント妖怪電車の運行に合わせ、卒業生で講師の妖怪作家・妖怪文化研究家 河野隼也氏指導のもと、お面を素材に子どもたちがユニークな妖怪を作りあげました。講座終了後、妖怪に変身し

た子どもたちは車折神社駅より嵐電に乗車し、嵐山駅での「妖怪総選挙」にエントリーをしました。車内では妖怪芸術団体「百妖箱」(学生団体)が扮装した妖怪が登場、車内は歓声と悲鳴に包ま

れていましたが、負けじとチビッコ妖怪たちも妖怪電車を楽しんでいました。(社会連携・研究支援グループ)

夏の地域連携行事



■「京の七夕」竹と光の
アート作品出品
(8月1日(土)〜10日
(月)まで京都堀川・鴨
川で開催された「京の七
夕」(京の七夕実行委員
会主催)に学生サークル
「竹造 TAKEZO」
が作品『鼓動』を堀川会
場に、『祈り・巡り合う』
を二条城会場に展示しま
した。

■嵐山学区夏祭、安井小
学校親子夏祭に参加
毎年恒例の嵐山学区夏
祭、今年から参加の安井
小学校親子夏祭に学生た

ちが参加、祭りを盛り上
げました。フェイスペイ
ント(あらし山びこ)や、
妖怪藝術団体「百妖箱」
(学生団体)は嵐山学区
夏祭の「お化け屋敷」を
担当、来場者を楽しませ
ていました。

■妖怪アートフリマ「モ
ノノケ市」 in 東京
京都・大将軍商店街妖
怪ストリートの妖怪イベ
ントとして始まった妖怪
アートフリマ「モノノケ
市」が8月14日(金)〜
25日(火)まで東急ハン
ズ渋谷店にて開催されま

した。卒業生で講師の河
野隼也氏プロデュースの
もと、本学の妖怪藝術団
体「百妖箱」(学生団体)
が主体となったこのイベ
ントは、多くの来場者が
あり大盛況のうちに終了
しました。(社会連携・
研究支援グループ)

附属機関

博物館 2015年度 常設展



これまで附属博物館で
の展覧会はテーマを設け
て企画・構成した展示ば
かりでしたが、このほど
初の試みとしてコレクシ
ョンを紹介する「常設展」
を5月26日から8月12日
まで開催しました。

本学のコレクションは
約4500点を数えます
が、その柱の一部である
「郷土玩具」と「退職教
員の作品」を中心に、こ
れまであまり紹介するこ
とがなかった工芸品や版
画等を、会期を前・後期

にわけて展示紹介しまし
た。総出品数は82点で、
日本画、染織、版画、彫
刻、そして郷土玩具とパ
ラエティに富んだ作品が
一堂に会しました。また
後期展示においては夏休
み期間にあわせ、会場の

一部に「怖いモノ・コト」
をテーマにした特集展示
コーナーを設けました。
これは「京都・大学ミュ
ージアム連携」による
2015年度スタンブラ
リー企画のひとつで、夏
休み期間中に京都市内外

の三つの大学附属ミュ
ジアムを観覧し、ミュ
ジアムグッズをプレゼン
トするというイベントに
合わせて企画されたもの
でした。(社会連携・研
究支援グループ)

附属図書館 企画講演会



2015年度、附属図
書館ではよりその魅力を
知ってもらうためにさま
ざまな公開講演会を企画
し4月より実施していま
す。第3回から第5回は
(琳派400年「素材の
可能性から考える」)をテ
ーマに3回の講演会を行
いました。6月13日(土)
は佐々木正子教授(図書
館長・日本美術史)によ
る講演会「伝統と革新・
琳派とは何か、画材・技
法の問題から考える」、
6月27日(土)は客員教
授で金箔伝統工芸士・裕

人樂翔氏に作品の展示と
実演を交えて「金箔の表
現と可能性」と題して話
していただきました。7
月4日(土)は客員教授
で和紙造形作家・堀木エ
リ子氏による講演会「無
限の可能性に挑む進化す
る和紙」を開催しました。
貴重な講演会に多くの方
が来場されました。(社
会連携・研究支援グルー
プ)

大学関連行事予定

Sep.-Dec.2015



- 9月20日(日)..... AO入試Ⅲ期
- 9月24日(木)..... 後期授業開始
- 9月27日(日)..... 入試対策美術講習会
- 9月30日(水)..... 前期卒業・修了式
- 10月24日(土)..... 大学院入試(前期)
※社会人、留学生含む
- 10月25日(日)..... 指定校入試
3年次編入学入試(前期)
海外帰国生入試(前期)
社会人入試(前期)
短期大学部専攻科入試(前期)
- 10月31日(土)~11月1日(日) ... 嵐芸祭
学園祭オープンキャンパス
- 11月 1日(日)..... ホームカミングデイ
- 11月 7日(土)..... スカラシップ入試
- 11月 8日(日)..... 公募推薦入試
- 11月28日(土)..... 外国人留学生入試(前期)
※3年次編入学含む
- 12月26日(土)..... 年内授業最終日
- 12月28日(月)~1月5日(火)..... 冬季休業

Information

附属博物館 スケジュール

- 『ピコピコカケラ村 秘宝展』
 - 期間 10月1日(木)～11月4日(水)
 - 開館時間 10:00～17:00 ※休館日 日曜日
 - 主催 ピコピコカケラ村・菊川法子×松前公高
(1986年度嵯峨美術短大ビジュアルデザイン卒業生)

附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」スケジュール

- 『北アリゾナ大学教員展』
 - 期間 10月1日(木)～10月7日(水)
 - 主催 佐野仁志 他有志(国際交流WG後援)
- 『京都擬人化作品展』
 - 期間 10月10日(土)～10月25日(日)
 - 主催 京都嵯峨芸術大学短期大学部コミックアート分野
- 『C. シーテン』
 - 期間 11月5日(木)～11月8日(日)
 - 主催 京都嵯峨芸術大学芸術学部デザイン学科イラストレーション領域C
- 『京都嵯峨芸術大学生涯学習講座「絵本」 絵本と原画の作品展』
 - 期間 11月16日(月)～11月22日(日)
 - 主催 京都嵯峨芸術大学
- 『第13回 SAGA ART JAM』
 - 期間 11月24日(火)～11月29日(日)
 - 主催 SAGA ART JAM有志
- 『デザイン学科卒業制作学内展示』
 - 期間 12月2日(水)～12月3日(木)
 - 主催 京都嵯峨芸術大学芸術学部デザイン学科
- 『絵本と原画の作品展』
 - 期間 12月8日(火)～12月13日(日)
 - 主催 京都嵯峨芸術大学短期大学部デザイン分野絵本領域
 - ※展覧会などの日時は、都合により変更になることがあります。

アートプレイス スケジュール

- ▶「アートスペース嵐」(玄関ホール)
- 『2020東京オリンピック・パラリンピック関西文化プログラム提案』
 - 期間 9月25日(金)～10月1日(木)
 - 主催 京都嵯峨芸術大学芸術学部デザイン学科観光デザイン系3回生
- 『彫刻分野作品展(仮称)』
 - 期間 11月5日(木)～11月10日(火)
 - 主催 京都嵯峨芸術大学芸術学部造形学科彫刻分野研究室
- 『ポートフォリオ展』
 - 期間 11月12日(木)～11月20日(金)
 - 主催 制作展WG

▶「アートスペース嵐」(玄関ホールギャラリー)

- 『絵本と版画(仮称)』
 - 期間 9月25日(金)～10月9日(金)
 - 主催 京都嵯峨芸術大学芸術学部造形学科版画研究室
- 『卒業生グループ展(仮称)』
 - 期間 10月12日(月・祝)～10月25日(日)【予定】
 - 主催 山本香(1984年度嵯峨美術短大美術教養卒業生)
- 『彫刻作品展(仮称)』
 - 期間 11月5日(木)～11月10日(火)
 - 主催 京都嵯峨芸術大学芸術学部造形学科彫刻研究室

▶「アートスペース嵐」(2階ラウンジ)

- 『Happy Hallow EEN』
 - 期間 10月22日(木)～10月30日(金)
 - 主催 京都嵯峨芸術大学短期大学部デザイン分野イラストレーション領域
(商品展開クラス)

▶有響館3階、4階 ラウンジ

- 『デザイン学科グラフィックデザイン2回生 作品展』
 - 期間 11月13日(金)～11月19日(木)
 - 主催 京都嵯峨芸術大学芸術学部デザイン学科グラフィックデザイン領域
 - ※展覧会などの日時は、都合により変更になることがあります。

京の美意識 スケジュール

- 毎回、各分野の第一線で活躍されておられる講師をお招きして、ご講演いただいています。また、ご希望の方には過去の講演録を販売しています(1冊1000円)。
- 第100回 お菓子を通じて伝えたいこと
 - 日時 9月26日(土)
 - 講師 杉野善彦氏 <株式会社井筒ハツ橋本舗 代表取締役社長>
 - 第101回 なすびの花
 - 日時 10月24日(土)
 - 講師 玉置半兵衛氏 <半兵衛麩十一代目当主>
 - 第102回 伝統を活かした京提灯のこれから
 - 日時 11月28日(土)
 - 講師 小嶋俊氏 <提灯職人>
 - 第103回 伝統を引き継ぐ重みと喜び
 - 日時 12月19日(土)
 - 講師 住井啓子氏 <小丸屋住井 代表取締役社長>
 - ※いずれの回も 14:20～、「有響館」G401 教室にて(参加無料)

サガフリーマーケット「サガノミノイチ」

毎回好評の「サガフリーマーケット」。リサイクル品だけではなく、芸大生ならではの手作りグッズから、世界にひとつの作品まで、嵯峨芸ならではのグッズが並びます。

日時 10月3日(土)、11月28日(土) 11:00～16:00(予定)

あらし山びこスケジュール

附属図書館の児童書コーナー「あらし山びこ」では、近隣の小学生や児童を対象に、季節に合わせた絵本の読み語りイベントを開催しています。地域の皆様と京都の文化を学び、ふれあう時を一緒に過ごしながら、子どもたちの読書の第一歩を応援しています。

入場料 無料 参加自由
場所 京都嵯峨芸術大学
萩原キャンパス「有響館」1階 附属図書館内

回	日程	プログラム	テーマ
4	10月17日(土)	30分	えほんとおそぼ
5	12月19日(土)	60分	もぐもぐ 本プログラム

※授業や行事等により開催日やテーマを変更する場合があります。



京都嵯峨芸術大学公式
Facebook





京都嵯峨芸術大学公式
Twitter





京都嵯峨芸術大学公式
YouTubeチャンネル



【編集後記】 京都の夏は猛暑続きですが、本学の周辺の嵯峨野・嵐山地域には夏休みを利用した観光客の方が例年にも増して多く訪れています。本学でも夏のオープンキャンパス、AO入試などが夏休み期間に実施されました。今号が発行される秋には、学園祭、ホームカミングデーなどの行事も予定しています。ますますキャンパスがにぎわう季節になります。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。(入学広報グループ)



学校法人 大覚寺学園

京都嵯峨芸術大学
京都嵯峨芸術大学短期大学部



〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地
TEL.075-864-7858(代) FAX.075-881-7133 <http://www.kyoto-saga.ac.jp>
京都嵯峨芸術大学広報 第54号 2015年9月16日発行 編集:京都嵯峨芸術大学 入学広報グループ
発行:学校法人 大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学・京都嵯峨芸術大学短期大学部
info@kyoto-saga.ac.jp